

## 事前評価調査書

I 事業概要											
事業名	治山事業（予防治山事業）										
地区名	しんしろしくろ ぜあざなかや 新城市玖老勢字中屋 ほか										
事業箇所	しんしろしくろ ぜあざなかや 新城市玖老勢字中屋 ほか 地内										
事業のあらまし	溪岸侵食による不安定土砂の堆積及び流出が多く見られ、また、周辺には手入れ不足の森林も存在し、山地災害の危険性が高い。このため、地元からの要望と荒廃現況を勘案して、床固工1個谷止工1個及び本数調整伐を実施することにより山地災害を防止する。										
事業目標	【達成（主要）目標】 床固工1個、谷止工1個を設置し、荒廃溪流の保全を図る。 本数調整伐0.7haを実施し、山腹斜面の保全を図る。										
事業費	事業費										
	内訳 42百万円 ■工事費 41百万円、■用補費 1百万円										
事業期間	採択予定年度 2020年度 着工予定年度 2021年度 完成予定年度 2021年度										
事業内容	床固工1個 谷止工1個 本数調整伐0.70ha										
II 評価											
①事業の必要性	1) 必要性	当該地域では溪流及び山腹の荒廃が進み、山地災害の発生の恐れが懸念されている。地元からは治山事業による整備が強く望まれている。 また、「費用便益分析マニュアル」に基づき算定したB/Cは2.61で1.0を越えており、効果が期待出来る。									
	判定	A A：現状の課題又は将来の予測から事業の必要性がある。 B：現状の課題又は将来の予測が十分把握されていない。 【理由】 山地災害の未然防止を図る上で、当該地域における事業実施が必要であるため。									
②事業の実効性	1) 事業計画	<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td>2021</td> </tr> <tr> <td>工種 区分</td> <td>工事(床固工、谷止工))</td> <td>←————→</td> </tr> <tr> <td colspan="2">事業費(百万円)</td> <td>42</td> </tr> </table>			2021	工種 区分	工事(床固工、谷止工))	←————→	事業費(百万円)		42
			2021								
工種 区分	工事(床固工、谷止工))	←————→									
事業費(百万円)		42									
判定	A A：事業計画の実効性が期待できる。 B：事業計画の実効性が期待できない。 【理由】 事業計画に無理はなく、地元の了解も得られているため、事業の実効性は期待出来る。										
III 対応方針											
事業実施が妥当である。	事業実施が妥当である。：上記①及び②の評価がすべてA判定であるもの。 事業実施は妥当でない。：上記以外のもの。										
IV 事後評価実施の有無と主な評価内容											
■対象（事業完了後5年目） □対象外 【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】  【主な評価内容】 床固工・谷止工周辺の溪流の状況及び山腹斜面の状況から事業効果を評価する。											